

## 第三章

# 必要なときに必要に応じて受けられる 福祉サービス体系の確立

### 第一節 子育て支援

主たる担当課

子ども相談の充実	33101	子ども相談課
地域子育て支援活動の推進	33102	保育課
保育サービスの充実	33103	保育課
子育てに関する経済的支援の充実	33104	子ども支援課

### 第二節 高齢者支援

地域介護の充実	33201	高齢者支援課
介護予防に向けた取り組みの充実	33202	高齢者支援課
高齢者の社会参加・社会貢献の機会と場の充実	33203	高齢者支援課
高齢者相談の充実	33204	高齢者支援課

### 第三節 障害者支援

障害福祉相談・支援体制の充実	33301	障害福祉支援課
日中活動の場・住まいの場と在宅福祉サービスの充実	33302	障害福祉支援課
あらかき園と障害者福祉センターの機能強化	33303	障害福祉支援課
障害に関する啓発活動の充実	33304	障害福祉支援課
療育・教育システムの充実	33305	子ども相談課
障害者の就労支援体制の強化	33306	障害福祉支援課

# 第一節

## 子育て支援

### 現状と課題

- 少子化問題は、今後の社会経済状況全般に大きな影響を及ぼすと考えられており、その要因のひとつとして子育て支援体制の整備不足が挙げられています。
- 我孫子市内の乳幼児の約半数は、日中、家庭で子育てされていますが、核家族化や都市化が進む中で、子育てに関して親類や地域からのサポートが得にくくなっており、子育てに負担感や不安、ストレスを感じる親が多くなっています。また、長引く景気の低迷などに伴う経済的な負担を感じる親も増えてきています。そのため、こうしたことが原因と思われる子ども虐待が増加しており、平成22年度に市が対応した子ども虐待件数は、163件のほります。
- 市では、「子育て」と「子育て」を一体としてとらえ、子ども行政を確立するため、平成21年度に「子ども部」を創設しました。また、平成22年度からスタートした「子ども総合計画後期計画」に基づき、子育て・子育て・親支援など、子ども関連の施策を体系化して

総合的に推進してきました。さらに、保育園や学童保育室の待機児童ゼロの堅持や子育て支援施設の整備・充実、ママヘルプサービスの実施、一時保育など各種保育サービスの充実を図ってきました。また、子ども医療費の助成拡大やひとり親家庭に対する経済的支援の充実に取り組むとともに、地域全体で子育てを支援する体制を整備するため、ファミリーサポートセンターを設置するなど、さまざまな子育て支援策を実施してきました。さらに、子ども自身や子育てをする保護者が抱えるさまざまな悩みや不安に対応するため、子ども総合相談の体制を強化するとともに、子ども虐待の防止に取り組んできました。

- 今後も、これらの取り組みをさらに進めていくとともに、親の子育て力の向上、親同士の交流の促進、母子家庭の就業推進、子育てに関する情報発信の充実に取り組んでいく必要があります。また、保育園の民営化を進める中で、保育サービスの質の確保・向上を図り、地域における子育て拠点としての機能を充実させていくことが必要となっています。

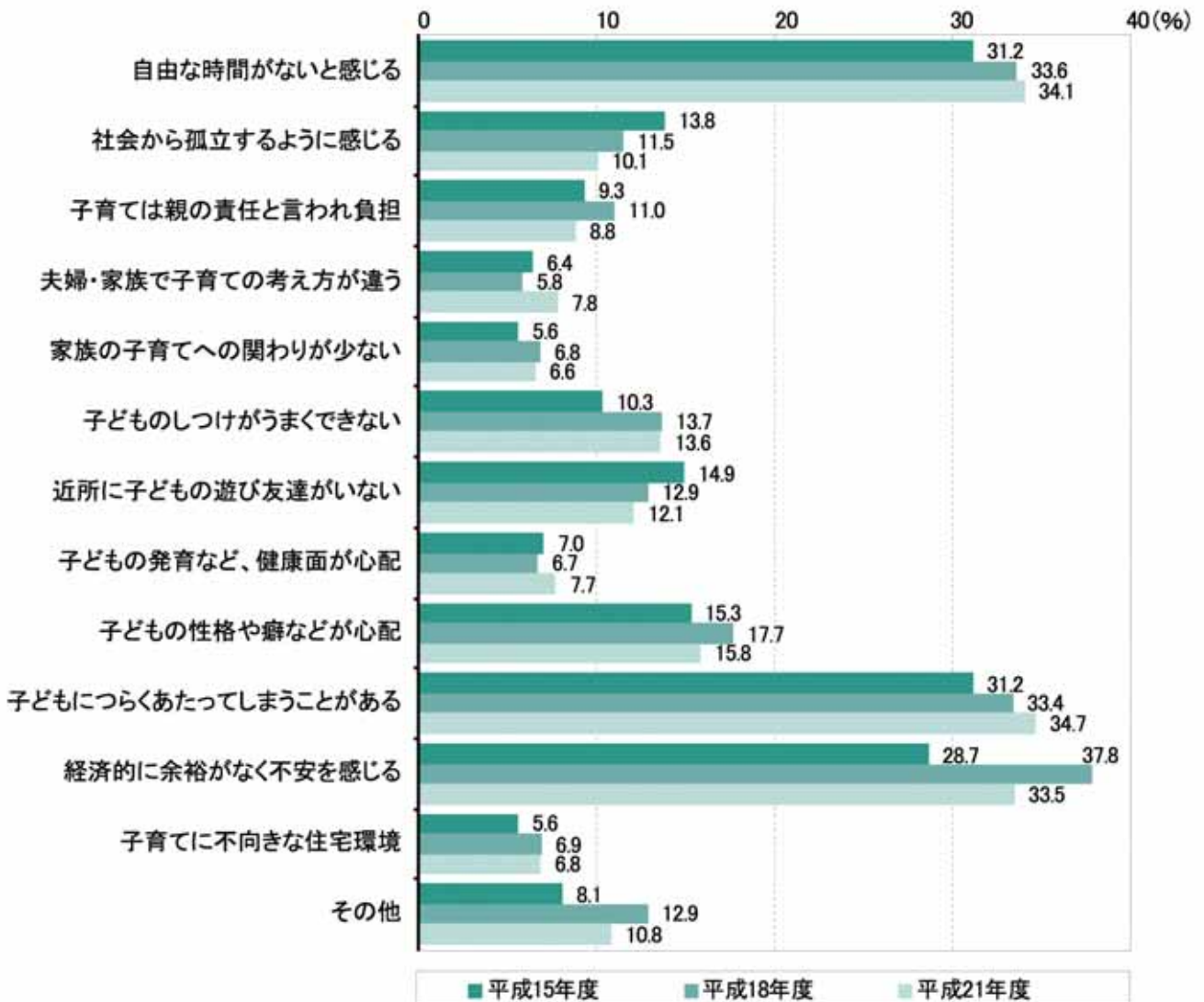
■ 合計特殊出生率



■ 就学前児童の内訳



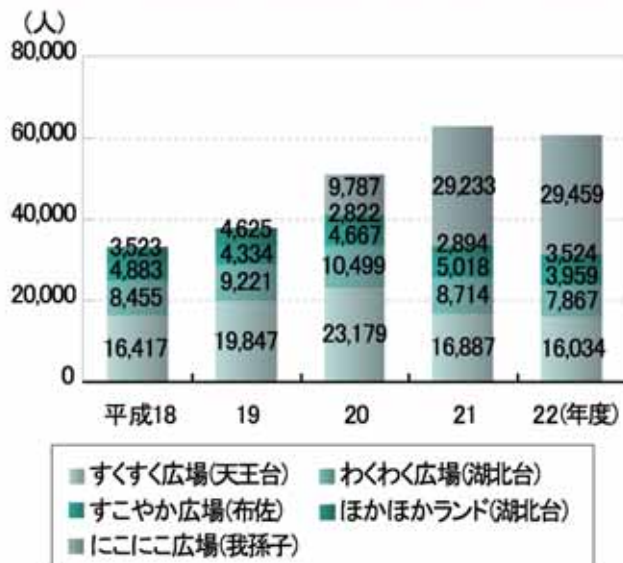
■ 乳幼児の保護者が抱える子育ての悩み(複数回答)



■子ども総合相談の年間対応件数



■子育て支援施設の利用者数



## 施策の展開

### ○子ども相談の充実

33101

子ども自身や子育てをする保護者が抱えるさまざまな悩みや不安に対応するため、児童相談所や東葛地区少年センターなど各種相談機関との連携を強化し、相談案件ごとのケースマネジメントを行うなど、各機関の役割や機能を十分活用した支援活動を実施します。

### ○地域子育て支援活動の推進

33102

地域全体で子育てを支援する環境をつくるため、保育園・幼稚園・NPOなど子育て支援にかかわる団体との連携を強化するとともに、各団体間の連携を促進します。また、地域に根ざした子育て支援事業の充実や市民への啓発、子育てサークルなどによる自主的な活動の促進など、地域子育て力の強化に向けた取り組みを進めます。

### ○保育サービスの充実

33103

多様な保育ニーズに対応するため、保育園や学童保育室をはじめとした保育サービスの供給体制の強化と質の向上を図ります。また、保育園が有する専門的なノウハウをいかし、地域における子育て拠点として子育てを共に支える体制を整備します。

### ○子育てに関する経済的支援の充実

33104

安心して子育てができるよう、子育て世帯に対して各種手当や助成金などの経済的支援を行い、子育てに関する負担の軽減を図ります。また、ひとり親世帯に対しても経済的支援を行うとともに、母子家庭の就業支援の充実を図ります。

目標・指標

目標

- 子どもや子育てをする保護者が抱える悩みや問題に対して適切な対応がなされている。 33101
- 子育て支援にかかわる個人・団体の連携や自主的な活動が進み、地域子育て力が強化されている。 33102
- 保育サービスが充実し、市民が安心して子育てできる。 33103
- 市民の子育てに関する経済的負担が軽減している。 33104

指標

指標名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成22年度	平成27年度
子ども総合相談の年間対応件数	33101	248件	270件
子育て支援施設におけるサービスの利用者数	33102	63,187人	65,000人
保育園への入園を希望する児童の入園率	33103	100%	100%
「子育て支援」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合)	33103	48.7% (23年度)	50%
手当や助成金を適正に支給した割合 (適正に支給した件数/支給総件数)	33104	100%	100%

## 第二節 高齢者支援



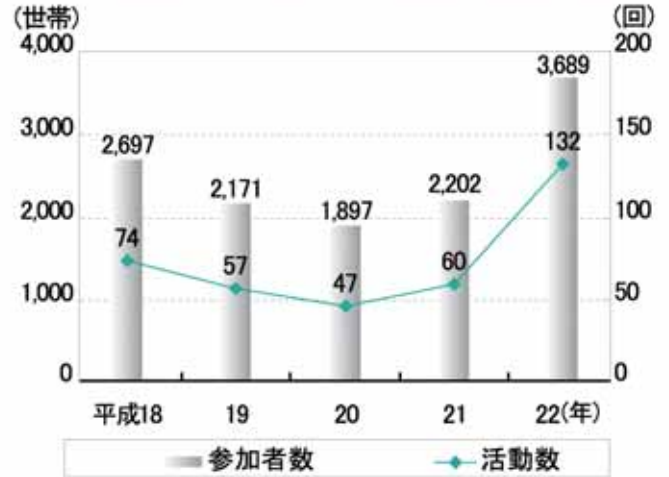
### 現状と課題

- 我孫子市の高齢者人口は増加傾向にあり、平成24年1月1日現在の高齢化率は23.6%で、東葛地区では最も高い状況です。高齢化率を大字別にみると、新木野2丁目・4丁目や湖北台6丁目では40%を超えています。また、少子化や核家族化の影響もあり、高齢者のみの世帯・ひとり暮らし世帯が増えていくことが見込まれ、老老介護や孤独死などの問題が顕在化してくるおそれがあります。さらに、要介護高齢者の増加が見込まれるとともに、高齢者に対する虐待の増加・深刻化が問題となっています。
- 平成18年の介護保険制度の改正により、要介護・要支援高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、「地域密着型サービス」や「介護予防」の新しいサービス・考え方が取り入れられましたが、その効果を検証するには、利用者数をさらに増やしていく必要があります。
- 市では、「介護保険事業計画」に基づき、市内6地区に地域密着型サービスである認知症高齢者グループホームなどの整備を進めるとともに、健康生活サポートリーダーを活用した介護予防事業を展開してきました。
- また、高齢者が抱えるさまざまな悩みや問題に対応するため、布佐・新木地区高齢者なんでも相談室を設置して、介護や健康についての相談や成年後見制度の活用の支援、悪質な訪問販売の被害防止、虐待の早期把握などに取り組み、高齢者の生活を総合的に支援してきました。さらに、「高齢者保健福祉計画」に基づき、認知症サポーターの育成や空き店舗を活用した「お休み処」の設置、市内事業所の送迎バスを利用した外出支援など、高齢者が住みなれた地域で安心してくらす環境づくりに取り組んできました。
- 今後の施策展開にあたっては、市内6地区の中でも高齢化率にばらつきがあるという点や、高齢者のひとり暮らし世帯や高齢者のみの世帯が増加傾向にあるという点を十分考慮して、地域で高齢者を支え合う見守りネットワーク（地域高齢者安心ネットワーク）を構築するなど、地域介護の充実を図る必要があります。また、高齢者が住みなれた地域で元気でくらすよう、要介護状態になることを予防する取り組みや生きがい対策として、高齢者の就労機会の確保やボランティア活動への支援など、社会参加・社会貢献の機会と場の充実を図りながら、健康寿命を延ばしていく必要があります。さらに、高齢者を地域で支えるしくみづくりの中核機関として、高齢者なんでも相談室の体制を強化し、機能を充実させることが必要です。

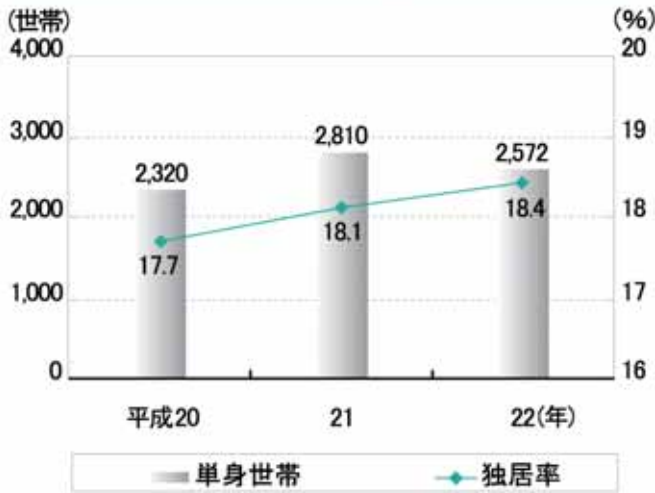
■我孫子市の高齢化率(平成25年以降は推計)



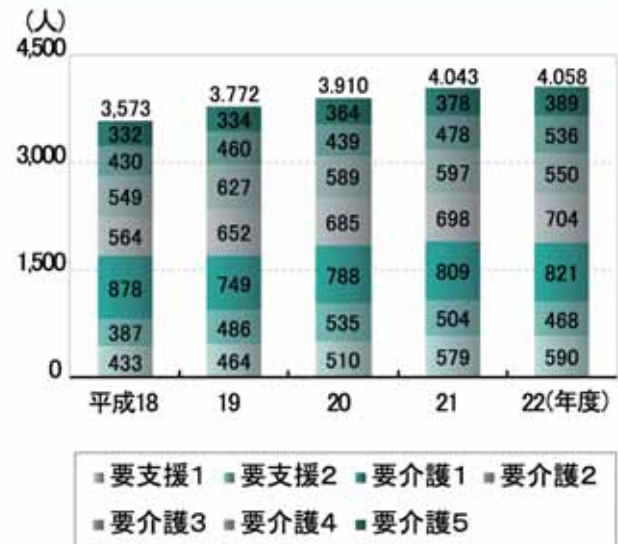
■介護予防活動の数と参加者数



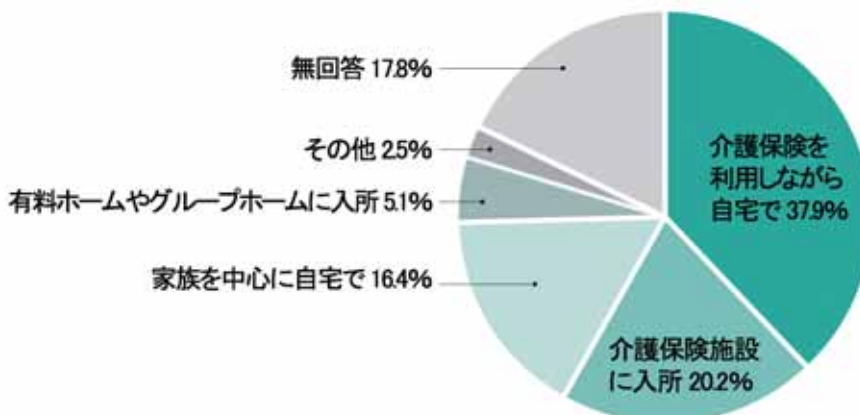
■高齢者の単身世帯数・独居率



■介護認定者の状況



■希望する介護形態



※「我孫子市介護保険事業計画」に係るニーズ調査(平成23年実施)より

### ○地域介護の充実

33201

高齢者が住みなれた地域で安心してらせるよう、身近な場所で必要なサービスを利用できる環境をつくります。また、高齢者のボランティア活動を推進する制度の活用などにより、地域住民がお互いに介護を支え合うしくみづくりに努めます。

### ○介護予防に向けた取り組みの充実

33202

高齢者が要介護・要支援状態にならないよう、健康生活サポートリーダーを活用して介護予防の重要性を周知するとともに、介護予防につながる活動を支援するなど、予防に向けた取り組みの充実を図ります。

### ○高齢者の社会参加・社会貢献の機会と場の充実

33203

高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、高齢者によるボランティア活動を支援するとともに、就労機会の確保に努め、社会参加・社会貢献の機会と場の充実を図ります。

### ○高齢者相談の充実

33204

高齢者が安心してらせるよう、高齢者なんでも相談室などの相談機能や介護者への支援の充実に努め、高齢者の保健・医療・福祉の向上を図ります。また、成年後見制度の活用や地域住民による見守りネットワーク(地域高齢者安心ネットワーク)の構築に取り組み、高齢者への虐待の防止や権利擁護を図ります。



## 目標・指標

## 目標

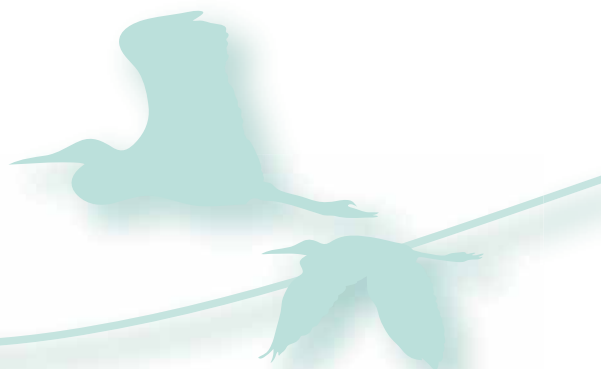
- 高齢者が介護サービスを身近な場所で利用できるとともに、地域住民がお互いに介護を支え合っている。 33201
- 高齢者が介護予防の重要性を認識し、予防のための取り組みを行っている。 33202
- 高齢者の社会参加・社会貢献の機会と場が十分に確保されている。 33203
- 高齢者の保険・医療・福祉が向上するとともに、高齢者に対する虐待の防止や権利擁護が図られている。 33204

## 指標

指 標 名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成 22 年度	平成 27 年度
介護保険ボランティアポイント制度 登録者数	33201	—	400人
介護予防活動への参加者数	33202	3,689人	3,800人
要介護・要支援認定率	33203	13%	11.5%
シルバー人材センターの会員数	33203	663人	700人
きらめきデイサービスの利用者数	33203	804人	890人
高齢者なんでも相談室への相談件数	33204	6,232件	6,500件

# 第三節

## 障害者支援



### 現状と課題

- 平成18年の障害者自立支援法の施行から5年が経過し、障害種別に応じて提供されていたサービスが精神障害者を含めて一元化されるとともに、施設内で支援を受けながら生活するという考え方から、自立訓練や就労支援により地域で生活をするという考え方に移行してきました。
- 我孫子市では、障害者など特別な支援を必要とする人が年々増加しています。中でも、心の健康を害する人が増えてきており、市に寄せられる障害福祉関連の相談も、その内容が多様、かつ専門的になってきています。また、障害者の増加とニーズの拡大に伴い、公設施設における定員の見直しや機能強化など、受け入れ態勢の充実が求められています。さらに、民間施設への支援や情報連携等のシステムの構築が必要となっています。
- このため、市では、障害者支援施設あらしき園や障害者福祉センターの機能を充実させるとともに、平成21年度には障害福祉支援課を設置して、社会福祉士、精神保健福祉士、保健師等の配置を進めるなど、相談・支援からサービスの利用まで一貫したケースワークができるようにしました。また、日中活動の場・住まいの場の整備運営や在宅福祉サービスの充実、障害者ジョブコーチによる就労への支援を行うとともに、障害児の療育については、乳幼児期から学校卒業まで、こども発達センターと教育研究所を拠点とした一貫した支援システムを整備してきました。さらに、バリアフリーおでかけマップ「らっく楽！あびこ」や市内事業者の送迎バスの活用など、障害者が住みなれた地域で自立して生活できるよう支援を進めてきました。
- 平成24年に施行予定の障害者自立支援法等の改正に伴い、相談支援や障害を持つ子どもへの支援などについて一層の充実が求められます。このため、ライフステージに合わせた相談・支援体制の充実に向けて、民間相談事業者の育成に努めるとともに、基幹相談支援センターの設置について検討していく必要があります。また、療育・教育システムを一層充実させるため、障害の早期発見・早期療育から、特別支援教育での取り組み、卒業後の就労支援といった一貫した支援体制の強化が必要であり、個別の支援記録等を引き継ぐしくみづくりが求められています。さらに、精神疾患についての正しい理解を深めてもらうための啓発活動や、日中活動・住まいの場の整備と運営への支援を進めていく必要があります。

■ 障害者数



■ 在宅福祉サービスの利用者数



■ 子ども発達センターのサービス利用者数



### ○障害福祉相談・支援体制の充実

33301

障害者とその家族を支援するため、相談窓口への福祉専門職員の配置を進めるなど、相談・支援体制の充実を図ります。また、土日・夜間などの緊急的な相談にも対応できるよう、民間相談事業者の活用や基幹相談支援センターの設置に向けた取り組みを進めます。

### ○日中活動の場・住まいの場と在宅福祉サービスの充実

33302

障害者が住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。

### ○あらかき園と障害者福祉センターの機能強化

33303

あらかき園と障害者福祉センターでは、障害者一人ひとりのニーズにあった施設サービスを提供するため、支援内容の充実を図ります。また、基幹施設として、市内の障害者施設への技術的支援を行うとともに、保健、医療、福祉の各機関との連携を強化します。

### ○障害に関する啓発活動の充実

33304

障害の有無にかかわらず地域で共にくらす社会を実現するため、イベントや講座等を開催して障害についての正しい知識を広げるとともに、障害者の地域活動への参加を支援するなど、地域と交流しながら啓発活動を行います。

### ○療育・教育システムの充実

33305

発達支援が必要な子どもとその家族に対して、ライフステージを通じて一貫した支援を行うため、保育園や幼稚園、小中学校など関係機関との連携を強化し、支援体制の充実を図ります。

### ○障害者の就労支援体制の強化

33306

障害者がそれぞれの能力や特性に応じて就労し、安定して働き続けられるよう、就労に関する個別相談やジョブコーチ支援などを実施するとともに、関係機関との連携を一層深めて、就労支援体制を強化します。

目標・指標

目標

- 障害福祉についての相談・支援体制が充実し、障害者とその家族が適切な支援を受けることができる。 33301
- 障害者が、住みなれた地域で自立した生活を営むことができる。 33302
- あらしき園・障害者福祉センター利用者が、一人ひとりのニーズにあったサービスを受けることができる。 33303
- 障害に対する理解が深まり、障害者が地域の活動に住民と共に参加している。 33304
- 発達支援が必要な子どもとその家族が、ライフステージを通じて一貫した支援を受けることができる。 33305
- 障害者が、それぞれの能力や特性に応じて就労するとともに、安定して働き続けることができる。 33306

指標

指 標 名 (指標の説明など)		現況値	目標値
		平成 22 年度	平成 27 年度
障害者相談支援事業所として指定された民間相談事業者の累計	33301	0件	3件
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数	33302	6,024人	7,360人
在宅福祉サービスの延べ利用者数	33302	538人	650人
市内障害者施設に対する研修や技術的支援を実施した回数	33303	8回	30回
障害者福祉センターの利用者のうち、経済活動や地域の文化芸術・スポーツ活動などに参加した人数	33303	30人	50人
障害者福祉施設が開催あるいは参加する啓発事業・イベント数	33304	9件	15件
療育・教育支援にかかるしくみを改善あるいは事業化した件数 (療育・教育システム連絡会とその下部組織による検討)	33305	0件	12件
就職後6カ月経過時の職場定着率 (定着者/就職者)	33306	86.7%	90%
福祉的就労から一般就労への移行者数	33306	3人	6人